

中学2年生 学年の時間 「障がいについて」

9月4日(金)と9月11日(金)、3密を避けた分散クラスで、「障がいについて」の授業を行いました。

中2学年の時間では、現在「自分の思い込みを疑う」として、偏見や差別、社会的障壁を取り除くためにはどのような思考をしていくべきかを学んでいく授業を行っています。

二時間目となる今回は、昨年に引き続き、京都大学大学院で「障がいに対する理解のあり方」を研究されている平沢直樹さんをお招きしました。



事前学習で、「障がい」についての自分の見解を確認した上で授業に臨んだ生徒たちは、平沢さんから提示された様々な問題について考えたり、生徒を巻き込んだ寸劇を通じて、障がいは「社会的障壁」によって生み出されるものであり、見えない障壁の存在に手探りで気付き、それを可視化・言語化していくことが真の障がい理解であると学びます。私たちは知らないうちに自分に目隠しをして「社会的障壁」をつくり出してしまっているという重大な事実を、生徒たち自身に考えさせる講演でした。

生徒たちはこの後事後学習として、自分自身の絵でも文でも詩でも、自分が好む自由で多様な手法によって「障がいとは何か」について自身の学びをまとめます。

平沢さんにはまた1月にLGBTQについてもご講演いただきます。その事前学習として紹

介された本が、漫画家たかせうみ先生の「カノジョになりたい君と僕」です。自分自身の体の性と心の性に違和感を覚える高校生たちのピュアなラブストーリーは、生徒たちのLGBTQ理解を大きく助けてくれることと思います。たかせ先生からは、この授業で御著書を生徒に紹介するに当たって、オリジナルメッセージとオリジナル漫画まで書いていただきました。本当にありがたいことです。



これらの学びから、生徒たちが目を見開いて「社会的障壁」を作らない意識を持って行ってくれることを願います。

平沢 直樹 先生

京都大学大学院 人間・環境学研究科 共生人間学専攻 博士後期課程

本校では2017年京都大学高大連携事業学びコーディネーターによる出前授業をはじめとして、課外探究活動、学年の時間において度々授業をしていただいております。

たかせ うみ 先生

漫画家。富山県出身。第78回小学館新人コミック賞で佳作を受賞。増刊「flowers」にて読切『エスニック・ミラー』でデビュー。その後GANMA!にて『カノジョになりたい君と僕』を連載、完結。著書に『カノジョになりたい君と僕』（出版：アース・スターエンターテイメント）

『カノジョになりたい君と僕』(<https://ganma.jp/kanoboku>)

たかせ先生からのメッセージ ([kanobokumessage.pdf](#) をダウンロード)

たかせ先生からのオリジナル漫画 ([kanobokumanga.pdf](#) をダウンロード)